

新宮山彦ぐるーぷ第2365回

行仙宿、モノレールのバッテリー交換など

◇実施日 5月15日(木) 晴

◇参加者 梶野照雄 1名

11日に行けなかった笠捨山捲き道の崩落現場に行こうと思っていたが、結果は今回も行くことが出来なかった。

平日の通勤時間帯でもあり、吉野を過ぎるまでは車が多く、日曜の早朝より30分以上余分に時間がかかってしまった。



バッテリー交換

古いものは小屋に

午前11時、登山口に到着してバッテリーの交換を始める。途中でネジが一本落ち、側溝の落ち葉の中を探すこと5分。やっとネジを見つけて交換が終わるまでに30分も掛かってしまった。セルモーター

ターのコネクタも磨いて接点復活剤を塗布したので、当分の間は大丈夫だと思う。古いバッテリーは小屋で使おうと思い小屋まで運んで倉庫に入れた。12時を過ぎていたのでお湯を沸かして昼食を始めた。一人の若者が南下してきた。コーラをお買い上げいただき、玉置神社でのテント泊に付いて話す。駐車場の売店で聞け、というと売店のご主人が親切だということを他の登山者から聞いて知っていた。この若者との会話で約20分。この時点で捲き道は諦め計画を変更する。



一人目の通過者

ストーブの灰掃除

二人目の登山者

午後1時半、食事を終え、ごみを焼却炉に運んでいると鈴の音が聞こえてまた一人の若者がやってきた。先の一人と同じく深仙宿から歩いてきたそうで、葛川辻でテントを張ると言っていた。コーラをお買い上げ、何か食べるものありますか？というので、再びお湯を沸かしどん兵衛をお買い上げいただいた。二人も登山者の相手をすることは予想していなかった。若者が笠捨山に向かった後、補給

路の架橋現場に向かう。橋桁の中央にたわみを抑える支柱を設置するため、表面に乗っている土を落としてしつかりした岩を露出させる作業を行った。思っていた通り5cmほど土を落とすとその下は岩盤で支柱を建てるのに十分な強度がある。ここに橋台を作った時のように穴を開けて鉄筋を打ち込み、枠を組んでコンクリートで固めて支柱を建てようと思う。

行動タイム
11:00 補給路登山口 11:35→12:15 行仙宿 15:47→16:30 補給路登山口



岩盤が出てきた

外れたトンガの先

下山

コジマハウスから持ってきたトンガの先が外れて10m位下方に転がっていった。急斜面の上に土が柔らかいので下り登り共にゆつくりとしか進めず拾い上げるのに時間がかかった。小屋に戻ってスコップを倉庫にしまい戸締りを確かめて下山。途中で飛び出した岩を5個掘り出したが重くて持ち上げられなかったものが3個あった。拡張部分を何か所か削りトンガをコジマハウスに戻してモノレールで降りた。モノレールは異常なく順調に上り下りができた。

(記・梶野)